

科目番号		53023	分類	専門科目 応用看護学領域	履修者	看護科学コース (看護管理者プログラム)		学年	
科目名	放射線保健学特論Ⅰ (Advanced Course in Radiological Health Sciences 1)							1	
								配当セスター	
								前期	
担当者	〇明石 眞言			区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
【概要】 放射線に関する基礎的事項を学ぶとともに、どのような考え方・体系の下で放射線保健が実践されているかを概観する。 【目標】 1. 放射線・放射能に関する基礎知識を習得する。 2. 国際放射線防護委員会（ICRP）勧告に基づく、放射線保健の体系について理解する。								1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力	
							〇	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力	
							〇	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力	
								4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステムの管理能力の向上	
								5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢	
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1回	放射線保健学が目指すもの								明石
第2,3回	放射線の基本的性質								
第4,5回	放射線の量								
第6,7回	放射線の健康影響（組織反応）								
第8,9回	放射線の健康影響（がんと遺伝性影響）								
第10,11回	放射線保健の考え方								
第12,13回	放射線の医療利用と患者および職業人の被ばく								
第14,15回	我が国の放射線規制体系								
事前・事後学習	事前学習として、ICRP（国際放射線防護委員会）の役割を理解しておくこと。 事後学習として、看護職と放射線診療の係わりを再認識し、学んだスキルの実践現場への適用を考察する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。								
評価の方法	授業への出席（20%）、筆記試験（80%） フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	ICRP Publication 103,（国際放射線防護委員会の2007年勧告）. 日本アイソトープ協会. ICRP Publication 118 (ICRP Statement on Tissue Reactions / Early and Late Effects of Radiation in Normal Tissues and Organs : Threshold Doses for Tissue Reactions in a Radiation Protection Context)								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								